

平成31年2月1日 読賣新聞 朝刊

# 今年度も、あおがくの 前期選抜講評が、 読売新聞に掲載されました。

## 出題方針と講評

県教育委員会に各教科の出題方針を聞き、学習塾「仙台あおば学舎」の講師陣に問題を講評してもらった。

平成31年度 宮城県公立高等学校

# 前期選抜講評

仙台あおば学舎  
講師陣による  
前期選抜講評

集団5教科  
10,000円台で  
公立高校合格を  
狙う。

【国語文責】

久保勝

【数学文責】

池田慎太郎

【英語文責】

豊巻奈緒子

### 国語

【出題方針】第1問では基礎的な漢字の読み書きの力、行書の特徴や敬語などの知識や理解をみた。第2問ではクラスでの企画の提案発表の場面を題材に、話の構成や展開を工夫して適切に表現する力、自分の考えと比較して聞く力を見た。第3問は登場人物の心情などを読み取り、適切に表現する力を問った。第4問では文章の

展開を捉え、書き手のものの見方を読み取り適切に表現する力を測った。第5問は古典の基礎的な事項の知識や理解を基に内容を把握し、古人の考え方を的確に捉える力を試した。

#### 記述解答の語数増

解答総数が減少し、記述解答の語数が増えた。記述式が苦手な受

験者は難易度が高く感じられただろう。

第1問は漢字や文法知識の問題で全体的に基礎レベル。

第2問は三つの資料とクラス発表の読み取りという見慣れない形式。解答根拠となる部分を資料から見つけ出せるかがポイント。

第3問は文学的文章。文語表現に慣れておく必要がある。記述は

はないが、優先すべき問題の選択や時間配分など実戦力が問われた。

第1問は計算や基本問題が中心。難易度も低く基礎知識の定着が試された。

第2問は難易度の低い(1)から(2)へ思考を連動させる応用力が問われた。

第3問は図形。最終問題は辺の

比から面積比を導く力が試された。手間のかかる分数計算が勝負の分かれ目だろう。

第4問は「〇分〇秒」の計算が厄介。応用問題は落ち着いて連立方程式を用いれば正解にたどり着ける。

第5問は規則性の問題。最終問題が高難易度とはならなかった。

### 数学

【出題方針】第1問は数と式についての基礎的な知識と計算力、関数の変域を考察する力などをみた。第2問はグラフの条件から反比例の比例定数を求める力、条件から連立方程式を立て処理する力などを問った。第3問は二つの三角形の相似を証明する力、相似比を用いて線分比を求めたり面積比との関係を活用したりする力を試

#### 時間配分が重要

例年全4題の構成だったが、今回は全5題。難易度に大きな変化

【出題方針】第1問は、短い会話の内容や流れを理解し、質問に適切に答える力を問うもの。第2問では、基本的な文法や語法に関する知識、語彙力、英文の構成力を見た。第3問は、ある程度の長さの英文から大切な部分をつまみ取る力をみた。第4問①では、話の展開を理解する力や、

### 英語

【出題方針】第1問は、短い会話の内容や流れを理解し、質問に適切に答える力を問うもの。第2問では、基本的な文法や語法に関する知識、語彙力、英文の構成力を見た。第3問は、ある程度の長さの英文から大切な部分をつまみ取る力をみた。第4問①では、話の展開を理解する力や、

#### 難易度はやや低下

出題形式に大きな変化はなく、難易度はやや低下。時間配分にも

余裕があった。

第1問では対話の流れを把握して適切な応答文を選ぶ力が試された。

第2問は多くが中3の既習範囲。受験生を悩ませるようなひねりはなかった。

第3問は昨年同様の分量の長文。留学生のスピーチを通して全体の文脈をつかむ力が試された。

設問中のキーワードから適切な箇所を見つけやすかった。

第4問①の対話文では本文と資料を同時に読み進める力が必要。要約文の空欄補充などで全体の把握が問われたが、難易度は例年並み。②の英作文は自分の意見を3文以上の英文で答えさせた。場面設定の理解と説明力、表現力が問われた。

(久保勝講師)

(池田慎太郎講師)

(豊巻奈緒子講師)